

OVERDRIVE PREAMP 1959;TOY BOX オーナーズマニュアル

1959;TOY BOX をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

;TOY BOX はシリコントランジスタを使って増幅したシグナルを選別されたゲルマニウムダイオードによりクリップさせて歪を作るドライブペダルです。内部調整の ClipBias によりバランスされたドライブサウンドは音が手前に「飛び出てくる」といった表現が最適かと思えます。御使用のギターやボリューム位置により再調整可能です。

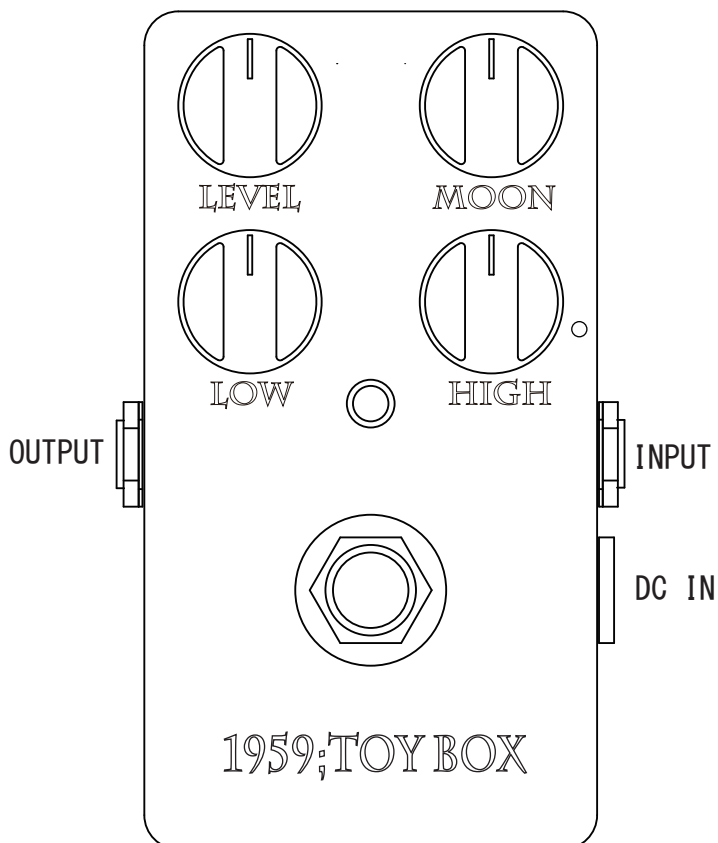
PLEXI サウンドを再現したプリアンプですので、お楽しみください。

青色の 1959;TOYBOX と赤色の 1959;TOYBOX は低音成分の差異があります。

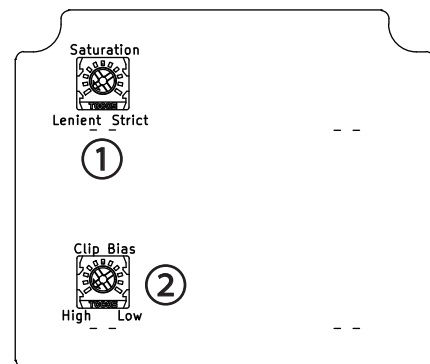
青色はウォームな低音と濃厚なミドルサウンドが特徴です。

赤色はより大音量でお楽しみできるように青色よりも低域をタイトとしました。

製品説明図



内部調整箇所



注意
内部調整を行う場合は電子部品に触れないように十分に気をつけて行ってください。

外部調整について

- ①MOON ツマミ 入力ゲインを上げるためのツマミです。
- ②LEVEL ツマミ 出力レベルを調節するツマミです。
- ③Treble ツマミ 高音域の調整を行います。12時でフラットからプラスマイナス方向に高音域の増減が出来ます。
- ④Bass ツマミ 低音域の調整を行います。12時でフラットからプラスマイナス方向に低音域の増減が出来ます。

内部調整について

①Saturation の調整は歪み具合やノイズ、検波等を確認しながら調整して下さい。ボリュームノブに対するレスポンスにも影響し、周波数特性にも影響します。

②ClipBias の調整は MOON ノブ 12 時方向にて 440Hz のサイン波にて 2 倍音 (880Hz) と 4 倍音 (1760Hz) と 6 倍音 (2640Hz) の一番低いレベルに合わせてあります。100Hz の場合は 2 倍音 (200Hz) と 4 倍音 (400Hz) で合わせます。入力レベルや入力周波数により多少変わりますので、再調整することも可能です。

ヒント：MOON ノブを御使用する位置やハイフレット位置や楽器の出力に合わせ直すことも可能です。敢えて倍音感の強い所に合わせることも可能です。

ハイフレット単音を入力しながら（フレーズを弾かず、カポ等で 12 フレット等を押さえ、単音で連続して弦を弾きながら調整を行うととわかりやすいと思います。）

アンプから出てくる音を聞きながら ClipBias を回転させてください。

平たい音がだんだん集音してきて、再度平たい音になります。

サウンドが集まったポイントが最適位置かと思えます。

御注意：保証期間内でも出荷時への再調整は有料となります。

付属品（内容物）

- ゴム足 x4 個
- 小型ドライバー x1
- 保証書（無償保証規定）、取扱説明書（本書）、安全にお使いになるしおり

仕様

- インプット : 入力インピーダンス：約 15k Ω
- アウトプット : 出力インピーダンス：約 50k Ω (LEVEL50%)、約 1k Ω (LEVEL100%)
- 消費電流 : 4mA (DC9v)
- 入力電圧 : DC9v (センターマイナス)
- 本体寸法 : 70mm (幅) x 115mm (奥) x 50mm (高)
- 重量 : 290g
- 内部電池 : 006P

※内部電池が安定化されたパワーサプライをお使いください。ACアダプター直接接続の場合、ノイズがシグナルに乗る場合があります。

※品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合がございます。

※手作業で塗装していますので、多少の色ムラ、埃の混入が出る場合がございます。

※塗装、梱包には十分注意を払っていますが製造過程で多少塗装に剥がれが出る場合があります。ご了承下さい。

※内部調整の調整は標準機との比較調整を行っておりますので、再調整は保証外となります。